

Donco新聞

070-2155-3047
025-787-3047
<https://donco.jp>
toshi@snow.co.jp



■6月定例会 一般質問

●2期目の議員活動としての1期4年の重点課題。

若い世代の政策は、

- 「子育て、教育問題」
- 「若い世代の職場の確保」
- 「適正な賃金の確保」

若い世代は、パソコン、スマホが普及。

WEB上から意見を吸い上げる。

湯沢町議会で独自サーバー運用し。

- ・アンケート実行・意見集約
- ・陳情、請願の方法提示、陳情・請願のサンプル提示をしていきたい。

町民の意見を吸い上げ、議会運営を町民に見える化。

若者層が議会、政治に興味を持てる用な

議会運営をしていく。

他の重点課題として

◎【行政改革】

- 「町民の意見を反映させるシステムづくり」
- 「事業の具体的な長中短期の計画化」
- 「オープンな事業計画」

◎【高齢者福祉対策】

- 「交通手段の確保」
- 「各地域におけるコミュニケーション対策」

◎【障がい者対策】

- 「親亡き後の生活確保」
- 「グループホーム設置」
- 「雇用対策」
- 「マッチング制度確立」

◎【観光対策】

- 「観光の掘り起こし」
- 「観光ビジョンの確定」
- 「夏場の観光対策」

【行政改革】

【問】各種事業を実施するにあたり、計画を実行していく際に町民の意見が反映されていると認識しているのか伺います。

【答】反映されていると認識している。

【問】今回の「町長懇談会」において、従来の懇談会の他に新しく「子育て若者世代」「シニア世代」「マンションにお住まいの方」のターゲットを絞った懇談会がいいことだと思う。

従来の懇談会時も、その地区の今年度予定事業や来年

度、再来年度の予定事業の話を中心にしてはどうか？

【答】当然の事である。

※湯沢高原スキー場契約更新、越後湯沢駅西口ロータリー改修、越後湯沢駅時計台撤去、フットサルコート建設など他の大切な事業を、懇談会時に詳細に説明していれば不評がでていなかったのではないかと。

【問】事業委員会で町民の意見集約のため、町内会長を委員にして頂いている委員会がある。

今の町内会長は回り番でなっている町内会長が多い。

大半がサラリーマンであり、夜の会議にしかでれない状況があるがどのように対応しているか。

また、場所によっては、夜営業が多い町内会がある。そのような時の対応や町内会長が多忙で欠席する際の町としての委員会対応はどうして行くのか伺います。

【答】その町内会での代理出席を要望していく。

※ほとんどがサラリーマンであるので代理出席を頼めない状況も理解して頂きたい。

●具体的な長期・中期・短期の計画の重要性

上記がなぜ重要なのか。必要なのか。

◎湯沢町総合計画後期基本計画

- 基本政策1 四季を通じて、また訪れたいくなるまちづくり
- 基本政策2 働きがいのある活力あふれるまちづくり
- 基本政策3 自然と共に生き、快適に暮らせるまちづくり
- 基本政策4 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり
- 基本政策5 持続可能な自立したまちづくり

◎湯沢町総合戦略

- 基本目標1 魅力にあふれ、やりがいを感じて働くことができるまち
- 基本目標2 雇用が安定し、活力ある産業が持続するまち
- 基本目標3 若者が生活の場として選択するまち
- 基本目標4 子どもがすくすくと育つまち
- 基本目標5 多くの人を訪れ、交流する活気あふれるまち
- 基本目標6 時代にあった安全・安心で快適なまち

上記の計画は、必要ではあるが、どんな事業を実行しても上記計画に当てはまってしまう。これは、執行部側の事業の擦り付けになってしまう危険性がある。

どこの市町村でも当てはまってしまう。

湯沢町は、合併しないことを選んだ。

他の町とは違う町づくりをすることを選んだ。

合併しない町であれば他とは違う特化した町づくりをしなくてはならない。

総合的な町づくりをするのであれば今すぐにでも合併するべきだ。

湯沢町総合計画、湯沢町総合戦略、開花八策では、執行部と町民との間に湯沢町の方向性や同じ思いの強さのベクトルを共有することは出来ない。

具体的な目標に向かい具体的な事業を行い、常に今の進捗状況を監視しPDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）を繰り返し具体的な目標を達成していくべきだ。

企業誘致も、湯沢町が外部からも湯沢町が今どのような町を目ざし、どの目標に向かっているのかを主張しなければ湯沢町にきて頂く企業の賛同も得られない。

また、民間企業の活力を取り入れるためには、具体的な目標、具体的な事業が必要。

そうでなければ、費用対効果を常に計算する民間企業の力を得ることが出来ない。

今の社会状況は、めざましく変化している。その変化に対応するには、具体的な長期、中期、短期計画を持つことで対応していく事が大事。

例えば、今年10月から消費税が2%上がる。オリンピック1年前しては景気が上がらない。このことを考えれば、来年以降税収が落ちることが予想がつく。

具体的な長期、中期、短期計画を持っていれば、湯沢町にお金を回す事業を前倒しすることが出来る。町としても、不景気に慌てず対応できる。

町長もこのようなことで、童画美術館を見送っているのだと思う。

しかしながら童画美術館をとりあえず見送りその代わりにどのような事業を優先するのか提示がない。童画美術館を建設すると言われたのは町長自らである。

議会で否決された東口の時計台撤去事業（補助金なしの町だけのお金の2500万円）も具体的にどのように東口を改修していくか提示はなかった。西口で時間制限駐車場をなくす計画であったならば、時計台撤去ではなく、東口ロータリーの改修が必須であった。東口ロータリーの改修は6月になっても会議が開かれない。具体的な長期、中期、短期計画がないからだ。（質問時には会議日時の提示はなし。）

フットサルコート建設も具体的な目標、計画がないまま実行され9000万円もかかった事業費が年間15万円しか売り上げがない。観光協会と相談して建設したのだから利益追求はしていかなければならない。フットサルコートの宣伝はしていくとのことであったが去年は、そんな宣伝をしているとは思われなかった。

このように計画も無しに進められた事業はどうしても先詰まりとなってしまふ。

【問】 具体的な、長期・中期・短期の計画を作成することの重要性について、どのように認識しているのか町長の考えを伺います。

【答】 現在の行政運営は超中短期の計画に沿って行われている。

※具体的だとは思わない。下部に提示したような明快な具体的な事業計画を提示してほしい。

【問】 各種事業計画等を町民にオープンに示していると認識しているか伺います。

【答】 オープンにしている。

【高齢者福祉対策】

【問】 高齢者の見守りや地域とのコミュニケーションを維持するための取り組みの進捗状況を伺います。

【答】 配食サービス、緊急通報装置の貸与、安心安全見守りネット事業、生き生きサロン、山吹の集い等行っている。

【障がい者対策】

【問】 グループホーム設置の進捗状況、障がい者の雇用対策として、職場とのマッチング事業を町として取り組んでいるか伺います。

【答】 物件調査を行ったが適当な物件は見当たらなかった。今までは、高床式が認められなかったが法改正により一部認められる可能性がでてきた。引き続き法改正の動向を見ながら調査を行っていく。

生涯者雇用は年2回、就職相談会を健常者、障がい者問わず行っている。支援学校卒業後、就職出来なかった方へは就労移行支援、就労継続支援を行っている

【観光対策】

【問】 各地域の観光資源を掘起していくために、具体的な方策は何かあるのか、各地域のビジョンをどのように確立していこうと考えているのか伺います。

【答】 DMO設立時に観光資源の整備を行っていく。また各地域の強みを磨き上げていく。

■9月議会は決算議会となります。
一般質問は、夏期観光、夏期の暑さ対策、オリンピック対応を中心に致します。

※例 主な具体的な事業計画工程表をA3で3、4枚で提示

主な5カ年の具体的な事業計画		2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度				
事業名	担当部	4-6月	7-9月	10-12	1-3月	4-6月	7-9月	10-12	1-3月	4-6月	7-9月	10-12	1-3月	4-6月	7-9月	10-12	1-3月	4-6月	7-9月	10-12	1-3月	
●●●事業	●●部		■	■																		
●●●事業	●●部			■	■																	
●●●事業	●●部						■	■														
●●●事業	●●部									■	■											
●●●事業	●●部											■	■									
●●●事業	●●部						■	■														
●●●事業	●●部								■	■												
●●●事業	●●部											■	■									
●●●事業	●●部													■	■							
●●●事業	●●部																	■	■			